
VISUALIZE THE FUTURE



2019年3月期

決算説明会

株式会社デジタルメディアプロフェッショナル

2019年5月14日

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。
様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

- 1 2019年3月期 決算説明**
- 2 2020年3月期 業績予想**
- 3 今後の取り組みと成長イメージ**

1

2019年3月期 決算説明

2

2020年3月期 業績予想

3

今後の取り組みと成長イメージ

半導体業界動向

- 米中摩擦、新型iPhone販売不調、Intel10nライン立ち上げ遅れ、トランプ減税によるデータセンター過剰投資の反動など、様々な一時的要因で2018年後半落ち込んだ半導体市場は、2019年半ばを底に回復基調。
- AI、IoT、5G普及拡大と共にデータセンター、自動車、産業機器の成長が半導体需要を牽引。
- 製造業等を中心に生成されるデータ量の飛躍的増加しデータを効率的に処理できるエッジコンピューティングが加速。低消費電力、少ない遅延、コスト効率が鍵に。
- 大手ITベンダーやセットベンダーによる、自社アプリに最適化されたドメイン特化型半導体の開発が盛んに。FPGAやASICを多用。
- クラウド、データセンタ向けFPGA需要が増大。Xilinxがリード。

● LSI事業の売上増加がロイヤリティ収入の減少を補う

LSI事業 売上 364百万円 前期比 +214百万円

- 画像処理LSI「RS1」の出荷数量増加、ZIA搭載FPGA出荷開始が貢献

IPコアライセンス事業 売上 230百万円 前期比 ▲96百万円

- ゲーム機顧客からのランニングロイヤリティーが減少
- ZIA エッジAI IP「DVシリーズ」新規ライセンスを複数成約

プロフェッショナルサービス事業 売上 491百万円 前期比 ▲6百万円

- AI関連のソフトウェアやアルゴリズム開発等、受託案件の売上が増加
- NEDO「省電力AIエンジン受託開発」前期の加速費用が剥落

期初計画には届かなかったものの

LSIの順調な出荷、AIビジネスの成長により増収

成長に向けた事業ポートフォリオの転換が大きく進展

(単位：百万円)	2018年3月期	2019年3月期	増減額
売上高	973	1,086	113
営業利益	69	28	▲41
経常利益	66	33	▲33
当期純利益	109	35	▲74

利益率の高いIPライセンス事業の売上減少により、利益額が減少

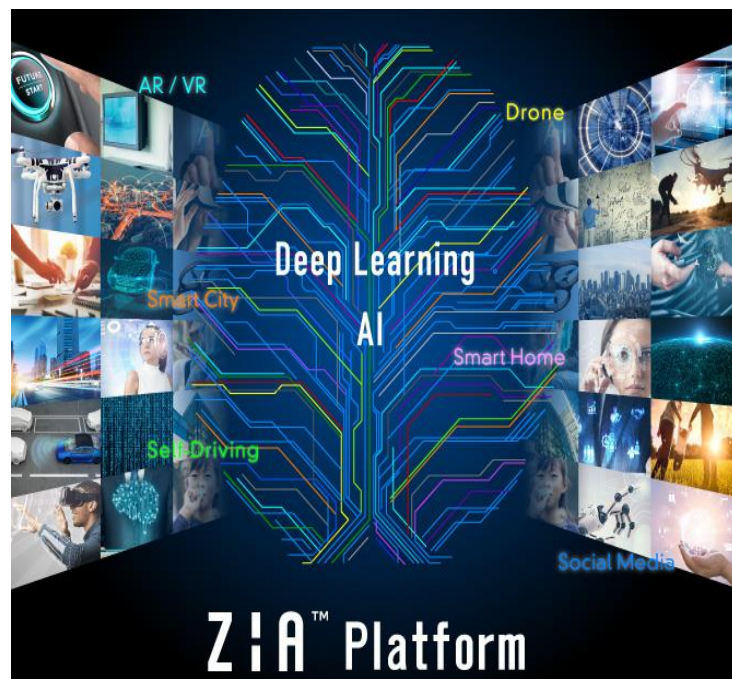
健全な財務状況を維持

(単位：百万円)	2018年3月末	2019年3月末	増減額
流動資産	1,774	2,063	289
固定資産	346	320	▲26
資産合計	2,121	2,383	262
流動負債	228	366	138
固定負債	18	18	0
負債合計	247	385	138
純資産合計	1,873	1,998	125
負債・純資産合計	2,121	2,383	262

ZIA ソフトウェア、IP、モジュール製品がそろそろ

ZIA DV500 AI プロセッサーIP発売 (2018年4月25日発表)

ZIA C2/C3 エッジAIモジュール発売 (2018年9月18日発表)



ソフトウェア製品

ZIA™ Classifier 画像分類エンジン

ハードウェアIP製品

ZIA™ DV700 エッジ向けAIプロセッサ

ZIA™ DV500 エッジ向け小型AIプロセッサ

NEW

モジュール製品

NEW

ZIA™ C2

ZIA™ C3

ZIA DV500 AI プロセッサIP

物体認識に特化した超小型AIプロセッサ

産業機器や自動車運転支援システム向けにシーン理解や物体認識機能に最適化
→ 高性能を維持しながら、小型化を実現

採用事例：UKC スマートミラー（CMS）



人、自転車、自動車などを自動認識、警告

- ・車室内の荷物や車体による視野制限を受けない
- ・天候に左右されず通常ミラーよりも広範囲の視認



2019年1月[国際] カーエレクトロニクス技術展
(株) UKCホールディングス ブース

ZIA C2/C3 エッジAIモジュール

DV700を搭載FPGAエッジAIプロセッサ

- ・ DMP DV700をFPGAに搭載しコンパクトで低消費電力かつ高性能なAI推論処理モジュール
- ・ Intel製FPGA及びXilinx製PGAを搭載し、業界主流のFPGAをカバー



- DMP DV700 AIプロセッサIP
- 使用FPGA : Intel Arria (C2), Xilinx Zynq (C3)
- デュアルコアARMプロセッサ
- 2GB メインメモリー / 16GB フラッシュメモリー
- 寸法 : 90mm x 90mm

主な特徴



フレキシビリティ

FPGAによりハードウェアのアップデートが可能。



高度なAI推論処理

「ZIA™ DV700」による高い性能と精度。



使い勝手の良さ

CaffeやKerasのAI開発フレームワークをサポート。



省電力でファンレスを実現

故障や構造設計の制約の問題になりやすい冷却ファンが不要。



長期供給

産業機器で長期供給の実績が豊富なFPGAを活用したモジュール。

(株)PALTEKとの協業

Xilinx FPGAを活用したエッジAIソリューションで協業 (2018年8月)
ZIA C3販売代理店契約締結 (2018年11月)

- ZIA C3によるAI内蔵FAカメラ、ロボット、建機、農機、検査装置、医療機器など開発をサポート

(株)マクニカ、(株)クロスコンパスと技術提携 (2018年9月)

製造業向けエッジAI生成から実装までの統合ソリューションを提供

- クロスコンパス製造業向けAIの統合環境「Manufacturing – IX」を ZIA C2/C3でサポート
- ファクトリーオートメーション、物流自立ロボット、医療など幅広い分野で短期間でエッジAIシステム構築を実現

DMP AI エコシステム

DMP AI ポートフォリオ

システム開発パートナー



Restar (旧UKC)

モジュール販売パートナー



MACNICA

AIソリューションパートナー

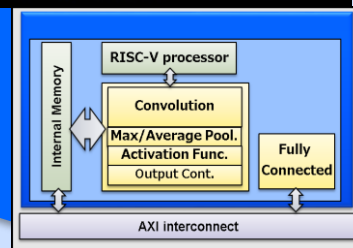


Morpho

ACCESS™

IPコア製品

Z!A™ DV500/DV700



ソフトウェア製品

Z!A™ Classifier

物体認識・分類

ディープラーニング推論エンジン

学習済みモデル

コンピュータビジョン

最適化されたライブラリー

モジュール製品

Z!A™ C2/C3



1

2019年3月期 決算説明

2

2020年3月期 業績予想

3

今後の取り組みと成長イメージ

RS1の販売数量増加およびAI製品・サービスの拡充により、売上高は増加
開発体制強化のための人員増加により利益面は横ばい

(単位：百万円)	2019年3月期 (実績)	2020年3月期 (予想)	前期比	
			増減額	増減率 (%)
売上高	1,086	1,300	214	19.6
営業利益	28	30	2	3.6
経常利益	33	30	▲3	▲9.9
当期純利益	35	20	▲15	▲43.1

2019年3月売上にはNEDOの受託開発売上172百万円を含む

1

2019年3月期 決算説明

2

2020年3月期 業績予想

3

成長イメージと今後の取組み

RS1ビジネスの拡大

- 今期からホール出荷が始まる顧客製品立ち上げサポート
- アーケードゲーム向け含めたマルチプラットフォーム化推進
- チャンネルパートナーとの協業で業界標準プラットフォーム化に向けた拡販

AI製品のポートフォリオ拡充、拡販

- ZIAハードウェアIP、ソフトウェア製品のラインアップ強化
- 高付加価値モジュール製品の開発
- パートナー企業とのエコシステム拡大、ソリューション提供力強化

顧客との協業強化、特定分野の深堀

- モビリティ分野での自動運転、自立運転、及び自動化システムの開発
- 産業機器、ロボティクス分野での省力化、自動化システムの開発

次世代グラフィックプロセッサー RS1量産出荷中



＊ 大手顧客で今期からホール出荷開始予定

- ＊ 業界初のパチンコ・パチスロ統合チップとしてシェアトップを目指す
- ＊ アーケードゲーム向け含めたマルチプラットフォーム対応

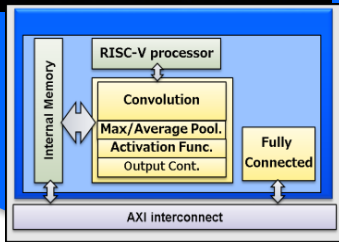
業界動向

- 2018年2月「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行規則」が施行され、2019年は新適合機（6号機）への移行端境期
- 2021年1月に旧基準機（5号機）撤去に伴い、新基準機への切り替え需要が見込まれる、但し、2020年夏季はオリンピック・パラリンピック開催により遊技機のホール導入が一時滞る見込み

ZIA AIプロセッサIP、モジュール、ソフトウェア製品の強化

IPコア製品

ZIA™ DV500/DV700



ディープラーニングを使ったコンパクトで高性能な
AI推論プロセッサIP

用途

- AI内蔵カメラSoC
- 自動運転SoC

モジュール製品

ZIA™ C2/C3



DMP DV700をFPGAに搭載し
フレキシブルで低消費電力な
AI推論処理モジュール

用途

- 産業機器
- ロボティクス
- 医療機器

ソフトウェア製品

ZIA™ Classifier

物体認識・分類

ディープラーニング推論エンジン

学習済みモデル

コンピュータビジョン

最適化されたライブラリー

AI、画像処理技術をベース
に独自開発した高度な
画像認識・分類エンジン

用途

- ドライバーモニターシステム
- ヒアリハット解析
- 医療診断

取り組み

機能・性能向上、
ラインアップ強化

カメラ内蔵型など、
高付加価値製品の開発

AI機能強化による
用途拡大

ソフトウェア製品: ZIA Classifierの広がる用途



ドライバーモニタリングシステム



人とクルマを笑顔でつなぐ
住友三井オートサービス

ZIA™ Classifier

ディープラーニング推論エンジン

学習済みモデル

コンピュータビジョン

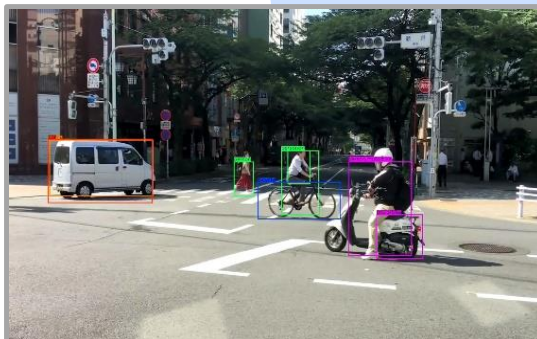
最適化されたライブラリー
(OpenCV OpenVX
Photography Vision)

ディープラーニングとコンピュータビジョン
を駆使しスマートに画像を認識・分類



メディカルシステム

B社：個人情報の匿名化



車外監視システム

A社：ヒヤリハット画像解析



建機・農機

トレイルの自動走行・ピッキング

AI・人工知能 EXPO

4/3-5/ 2019 ビッグサイト

パートナー企業7社が
ZIA C3を使った
各種アプリケーションを出展

(株)PALTEK



(株) NTT
コムウェア



(株)モルフォ



(株)クロスコンパス



(株) Rist



(株)クリスタル
メソッド



(株)コンピュータ
マインド



外観検査

クラウド
連携学習

共同出展

走行経路
判定

予知保全

衣類検査

人物検知

外観検査

AI 技術応用によるアルゴリズム開発から 製品搭載に至る最終製品化プロセスにおける協業

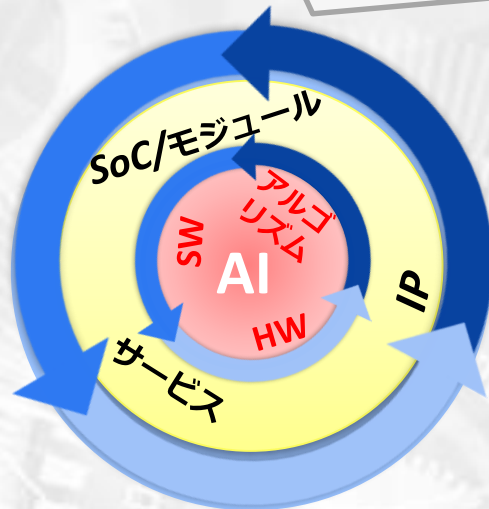
- 低速度領域における自動・自律運転システムの開発
- ロボティクス技術を活用した農業領域等における省力化・自動化システムの開発
- モビリティ製品全般に向けての先進安全運転支援システムの開発

DMPのAIアルゴリズム、ソフトウェア、ハードウェア技術を使いヤマハ発動機(株)様の各製品ドメインに最適化されたシステムを開発



AI Computing Company「世界のDMP」へ飛躍

AIアルゴリズム、ソフトウェア、ハードウェアを一貫して開発



成長するIoT・AI(人工知能)分野へ拡大

ZIAプラットフォームの展開

- プロセッサIP
- ソフトウェア
- モジュール
- パートナーとのエコシステム強化
- 海外展開

モビリティ/産業向けAIソリューション

- 自動運転
- ロボティックス

SoC/モジュールビジネス拡大

- 高付加価値モジュール
- ハイボリュームAI製品

勝てる「アミューズメント市場」で
安定した経営基盤

RS1の拡販

アミューズメントSoCトップシェアを目指す

現在地

フェーズ1

フェーズ2

フェーズ3

ご清聴、誠に有難うございました。

〈お問い合わせ先〉

(株)デジタルメディアプロフェッショナル 経営企画部

TEL:03-6454-0450

URL:<https://www.dmprof.com/jp/ir/>

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ環境や当社の関連する業界動向等により変動することがあります。従いまして、実際の業績等が、本資料に記載されている将来の見通しに関する記述と異なるリスクや不確実性がありますことをご了承ください。